

# 穂高PTAだより

発行日 令和7年3月1日

穂別高校PTA研修委員会



C  
O  
N  
T  
E  
N  
T  
S

|                              |              |      |
|------------------------------|--------------|------|
| ・ご卒業おめでとうございます               | PTA会長 横山 貴仁  | 2ページ |
| ・気が付けば卒業の時を迎えました~ともに過ごした三年間~ | 校長 岩瀬 均      | 2ページ |
| ・卒業に寄せて                      | 3学年主任 長岡 弥生  | 3ページ |
| ・進路活動を振り返って                  | 進路指導部長 小柳 雄彦 | 3ページ |
| ・思い出に残る学校生活を目指して             | 生徒会長 白石 風香   | 4ページ |
| ・次の Step へ                   | 1学年主任 印部 拓人  | 4ページ |
| ・2025年、勝負の年になります             | 2学年主任 折原 拓真  | 4ページ |
| ・令和6年度 PTA事業報告               |              | 4ページ |
| ・PTA研修委員                     |              | 4ページ |

## ご卒業おめでとうございます

PTA会長 横山 貴仁



三年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

担任の先生をはじめ、日頃より携わっていただいたすべての教職員の皆様、これまでやさしく、時には厳しく見守っていただき、誠にありがとうございます。

卒業生にとって、この三年間は、コロナ禍での入学式から始まり、そこから日常へと移りゆく過程を経た時期であり、その変化に戸惑いながらも幾多の困難を乗り越え、様々なことにチャレンジし、さらに進路問題では、世界情勢が不安定な中、景気はとても良いとは言えませんが、沢山悩まれたことと想料するところです。

卒業後に就職する人、進学する人、それぞれ新しい環境が始まりますが、また一から積み上げていかなければならず、それは楽しみなことでもあり苦しいことも待ち受けているので、息が詰まりそうなきときは、無理をせず立ち止まることも大事なのかなと思います。そのときはどうか、誰かに頼る勇氣を持つてほしいと思います。

また、気候変動により地球温暖化が進み、温室効果ガス排出ゼロを目指す動きが世界中で起きています。新たな地域課題やイノベーションが起きる一方で、先行きの予測が難しい時代であるので、個々に求められるものが大きくなるかと思っていますが、自分自身で決断し後悔のないものにしていくて欲しいと願います。

最後に、仲間を大切に思いやり、支えてくれた

先生方やご両親に対し感謝を忘れず、素直に誠実に、心配や憂いを新しいものを生み出すきっかけであると捉え、日々の生活を楽しんでほしいと思います。

「気が付けば卒業の時を迎えました  
ともに過ごした三年間」

校長 岩瀬 均



卒業生の保護者の皆様、お子様のご卒業、おめでとうございます。

このように、立派に成長さるのを感じ、ご卒業にあたり心よりお祝いを申し上げます。また、PTA、そして同窓生の皆様には、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りましたこと、深くお礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さんは、三年前の四月八日（金）に本校に入学しました。四方を山に囲まれ、鳥のさえずりとともに、澄み渡る空気と景色、これから毎日通う校舎の馴染みない雰囲気、どれを取っても不安な要素が一杯。更に寮生活にも心配を抱えながらの高校生活のスタートが思い浮かべられます。

三年生になった今、晴れやかで凛とした姿を見ていると、社会へ向かう第一歩を踏み出す気迫と覚悟が伝わってきます。皆さんがこの学校で取り組んだ探究活動は、「できない」を「できる」に、そして「あきらめない」の学びでもありました。これは次なる環境に十分通用する力となっているはず。自信をもって前に進んでください。

この三年間を振り返ると、君たちは日々の学習

活動の他、各行事など何事にも積極的に取り組むとともに、常に新しいアイデアを盛り込み、皆で楽しめるテーマに取り組んでいました。特に生徒会執行部が中心を担った今年の穂高祭のなか、夏を彩る浴衣の着用を組み入れた企画を、粘り強く会議をとおし実現することができました。このことが、学校全体、生徒全員に心に残る夏の思い出を作ってくれたとともに、素晴らしい学校行事を演出することができました。

また、少ない部活動種目においても積極的な活動を見せてくれました。弓道部では一年生から積み上げた実力で、全道大会に出場したり、三年生最期の試合では地区個人戦優勝に輝くなどがありました。バドミントン部においては、目標であった地区一回戦の勝ち上がりも達成したりと、充分すぎる活躍を見せてくれました。穂高高校の看板を背負って、常に目標を設定しアクティブに取り組んでいた三年生に感謝です。

さて、進路実現も粘り強い真摯な取り組みで、全員が次のステップを作り、前に進むことができました。それぞれが将来の夢の実現に向かって励まれることを期待しています。

私も君たちと時同じく穂高高校に入り、早いもので気が付けば卒業の時を迎えました。

結びになりますが、こうして生徒たちが卒業を迎えることができましたのは、保護者の皆様方の手厚い応援があったが故です。気持ち素直に表せられない年頃ではありますが、卒業生の心底は感謝の思いで一杯だと思っています。保護者の皆様の益々のご健勝を祈念いたしますとともに、今後本校応援団として、最期の一人まで止まらない穂高高校の生徒及び教職員に、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 卒業担任より

## 卒業に寄せて

三学年主任 長岡 弥生

たくさんの方々の方々の支えと導きにより、7名の生徒が卒業を迎えることができました。これまでご支援いただきましたこと心から感謝申し上げます。

守られることの多かった家庭や学校という場所から、成人となり旅立つ時がきました。社会に出るわくわく感や期待感がある反面、新たな環境への不安もあるのではないかと思います。

新しい環境に適応するためには、柔軟な思考や人の話を素直に聞き、理解し、行動する力が必要です。

これまでの人生で培ってきたありとあらゆる力を駆使し、それぞれの場所で大切にされ、可愛がられる人間であってくださることを願っています。卒業おめでとう。勇気を持って一歩前へ！



## 進路活動を振り返って

進路指導部長 小柳 雄彦

今年度の3年生の進路は、8割が就職希望となりました。それに伴って就職対策に全力で取り組んでまいりました。3年生の進路の実現にむけ、5月に札幌パークホテルで進学・就職説明会へ参加し、夏休み前から就職希望者への面接指導をしっかりと行いました。また、例年通り郵送で受けた求人票を整備し公開しました。今年度の特徴は、生徒の希望する求人を得ることが出来たため、希望する企業を受験し、内定を頂くことが出来たことです。受験前には、応募前企業見学に参加してもらいました。進学希望者1名は、指定校推薦にて合格することが出来ました。例年どおり2年生は10月にインターンシップを行い、職業観を育成することが出来ました。進路相談室の活用として、掲示物の定期的な入れ替え、生徒用プリンタを有意義に活用することが出来ました。来年度も進路相談室の活用についての改善に取り組み、より使い易い環境を提供していきたいと思っています。今年度の3年生の進路状況は左記の通りです。来年度もできる限り各生徒に合った進路指導ができるよう、皆様方からのご協力・助言をお願い申し上げます。

## 3年生の進路決定状況

|      | 決定者数 |
|------|------|
| 私立大学 | 1    |
| 専門学校 | 0    |
| 公務員  | 1    |
| 民間就職 | 4    |
| 未定   | 1    |
| 合計   | 7    |

(令和7年2月現在)

## 新生徒会の抱負

### 「思い出に残る 学校生活を目指して」

生徒会長 白石 風香

この度、生徒会長になりました白石風香です。新生徒会では、残り2年で閉校を迎えるこの学校で、生徒全員が思い出に残る充実した学校生活を送れるような活動をしていきます。

学校祭などの行事を通して、一人ひとりが楽しめる場を作ることを目指し、生徒の意見や希望を取り入れながら計画を進めていきます。また、限られた時間だからこそ、協力し合い仲間と共に達成感を感じられる環境作りに努めます。

閉校までの時間を大切にしながら、最後まで全力で取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

## 学年主任の先生から

### 次のStepへ

一学年主任 印部 拓人

入学式の日、1年生1名、最後の入学生でまだまだこどもだった君は、もちろん全てがうまくいくわけではなく、失敗もたくさんしてきましたが、この1年間で今まで経験してこ

なかったことを経験し、少しずつ成長しているように感じます。しかし様々な経験ができたのは家族や寮の方々、先生方、先輩方の協力があったからです。まわりの人への感謝を忘れずにこの後の学校生活を過ごしましょう。そして、学級通信のタイトルである「Step and Go!!」が意味するように、そろそろ次のステップに進みませんか？2年生に進級すると学校の中心として動いていくこととなります。めんどくささや自分の嫌なことから逃げず、自分のやるべきことに妥協しないで行動してくれることを期待しています。



## 「2025年、勝負の年になります」

一学年主任 折原 拓真

きみたちが入学し、2年がすぎました。インターシップと見学旅行という高校生活の二大行事が終了し、そのなかで君たちはすくすくと成長し、心身共に大きな成長を見せてくれています。

さて、先生はというと、君たちをゴールからの逆算で見えています。ゴールとは何か。それは君たちを「成人」にすること。ただ、18歳になつた「成人」ではなく、周囲のことがよく見え、相手の立場になり多くのことを考えつつも、自分の人生



を豊かにできる「成人」です。君たちが高校を卒業してからの世界には、人生を豊かにできるものが満ち溢れています。そんな世界で人生を豊かにすることができる「成人」を育てることが先生のゴールです。そのためには、何が必要か。先生も日々模索しています。皆もぜひ、春休みの間に自分なりの答えを見つけてみてください。

## 令和6年度PTA事業

(令和6年10月～令和7年3月)

11月22日(金) むかわ町PTA連合会研究大会・講演会  
(むかわ町 山本教頭参加)

3月1日(土) PTAだより発行

3月下旬予定 第2回PTA役員会



## 編集 PTA研修委員

委員長 田上 杉貴子  
委員 田中 由佳梨